

平成24年度活動報告及び収支決算報告について

I 平成24年度活動報告

1 機関誌の発行

- (1) 機関誌「子ども樹木博士ニュース」を平成24年6月1日(No.47)、9月1日(No.48)、12月1日(No.49)及び平成25年3月1日(No.50)の4回発行し、会員や実施団体をはじめ、林野庁、森林管理局・署等、都道府県等に配布した。
- (2) 機関誌の発行に当たって、平成24年7月2日に編集委員会を開催し、年間の発行時期・部数、配布先、特集記事等について検討した。

(参考)「子ども樹木博士ニュース」(No.47～50)の掲載概要

No.47

- 巻頭言：若い母親への期待
- 特集Ⅰ：各地のグループとの交流会で広がる活動
- 特集Ⅱ：子ども樹木博士認定活動の実施方法—その1：準備編—
- 事例報告Ⅰ：森林インストラクター会“愛”
- 事例報告Ⅱ：苦難から達成感へ！
- シリーズ：東南アジアの木々たち(16)—南国の象徴・ココヤシ①—
- 子ども樹木博士質問コーナー
- ア・ラ・カルト：樹木の名前・方言
- 事務局だより

No.48

- 巻頭言：森の風景と音楽—DVD「森の国日本」の紹介—
- 特集Ⅰ：身近で普通の動植物も、よく観察すれば面白い
- 特集Ⅱ：子ども樹木博士認定活動の実施手法—その2：計画編—
- 事例報告Ⅰ：創意と熱意を重ねた10年間
- 事例報告Ⅱ：活動の柱は「森を愛する人づくり」

- シリーズ：東南アジアの木々たち(17)―南国の象徴・ココヤシ②―
- 子ども樹木博士質問コーナー
- 事務局だより：第12回通常総会の開催についてなど

No. 49

- 巻頭言：優れた文化をつなぐ体験学習
- 特集Ⅰ：植物のかたちの基本
- 特集Ⅱ：子ども樹木博士認定活動の実施方法―その3：実践編―
- 事例報告Ⅰ：子ども樹木博士を実施して
- 事例報告Ⅱ：子ども達の発見を引き出すツールとして
- シリーズ：東南アジアの木々たち(18)―南国の象徴・ココヤシ③―
- 子ども樹木博士質問コーナー
- 事務局だより 平成24年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況等

No. 50

- 巻頭言：一般会計になる国有林野事業
- 特集Ⅰ：春間近の里山で樹木と動物を観察
- 特集Ⅱ：子ども樹木博士認定活動の実施方法―その4：実践編―
- シリーズ 東南アジアの木々たち(19)―面白い刈込み(タイ編)―
- ア・ラ・カルト：木の名前から森林と人との関わりを知る
- ピックス：子ども樹木博士リーダー等交流・研修会
- 事務局だより：平成24年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況等

2 認定活動等の実施状況

(1) 認定活動の推進

平成24年度の認定活動について、実施団体から事務局に報告等されたものは、実施回数で延べ69回、参加人数で延べ約22百人（前年度は73回、約23百人）となっている。

また、地域ごとには、25都道府県で、60団体による実施（前年度は22都道府県、46団体による実施）となっている。

(2) 子ども樹木博士リーダー等交流・研修会の開催

認定活動の実施団体等のネットワーク作りに資するとともに、活動実施

のきっかけづくりとスキルアップを図るための交流と研修の場として、平成 24 年 12 月 2 日(日)10:00~15:30、東京都文京区の小石川植物園(東大)及びプラザ・フォレスト(全林野会館)において「子ども樹木博士リーダー等交流・研修会」を開催した。東北や関東近辺から総勢 23 人の参加があった。

当日の実施プログラムの概要は次のとおり。

1) 野外プログラム (小石川植物園)

インストラクターの引率により、グループごとに樹木ツアーを実施
(インストラクター)

堀内 孝雄 氏 (茨城県植物園緑のインタープリター・森林インストラクター)

柳原 高文 氏 ((一社)全国森林レクリエーション協会主任研究員・森林インストラクター)

小菅 智彦 氏 (森林インストラクター東京会副会長)

2) 屋内プログラム (プラザ・フォレスト)

- ① ご挨拶・子ども樹木博士活動について (木平 勇吉 会長)
- ② インタープリテーション (講師:小菅 智彦 先生)
- ③ 事例報告・樹木クイズ出題等 (講師:柳原 高文 先生)
- ④ 樹木クイズの解答と解説等 (講師:堀内 孝雄 氏)
- ⑤ 意見交換等 (進行:木平 勇吉 会長)

(3) 認定証の配布等

要望を受けて、「認定証」、認定活動の「進め方」、その他の資料等を配布した。このうち、認定証の配布数は、2,309 セット・3,063 枚 (前年度 1,280 セット・1,390 枚) となっている。

(注) 認定証には A5 サイズと名刺サイズの 2 種類のものがあり、これらを併せてセットで要望されるケースもある。

(4) 新しい「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及

一昨年に新しく作成した「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及に努めた。配布数は 473 冊 (前年度 533 冊) で、このうち有償によるものは 447 冊 (前年度 443 冊) となっている。

(5) インストラクターの紹介等

実施団体からの要請に応じ、森林インストラクター等を紹介した。

また、平成 24 年度の認定活動の実施について報告等のあった実施団体を含め、実施団体の一覧表を整理した。

その結果として、平成 12～24 年度に認定活動を実施したことのある団体は 44 都道府県で 272 団体（前年度は 44 都道府県で 256 団体）となっている。

(6) その他の活動等

平成 25 年 12 月 13～15 日(木～土)に東京ビッグサイトで開催された「森林からはじまるエコライフ展 2012」において、パンフレットの配布等を行った。

また、協議会等のホームページの更新等を逐次行った。

【当協議会の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kyokai/kodomokyou.html>】

【子ども樹木博士の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>】

3 会員の状況

(1) 入会 個人会員 2 人

(2) 退会

退会の申出 団体会員 1 団体 個人会員 2 人

退会の処理 個人会員 3 人

(注) 退会の処理：3 年間会費が納入されていない会員が対象

(3) 平成 25 年 3 月末

団体会員 25 団体（前年度：26 団体）

個人会員 65 人（前年度：68 人）

Ⅱ 平成 24 年度収支決算報告

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 引
(収入の部)			
1 会費収入	396,000	345,000	-51,000
2 助成金収入	1,100,000	1,100,000	0
3 雑収入	131,000	285,556	154,556
当期収入合計 (A)	1,627,000	1,730,556	103,556
前期繰越収支差額	2,496,777	2,496,777	0
収入合計 (B)	4,123,777	4,227,333	103,556
(支出の部)			
1 会議費	90,000	53,600	-36,400
2 事業費	1,500,000	463,829	-1,036,171
3 事務費	1,140,000	1,065,367	-74,633
4 予備費	300,708	0	-300,708
当期支出合計 (C)	3,030,708	1,582,796	-1,447,912
当期収支差額 (A-C)	-1,403,708	147,760	1,551,468
次期繰越収支差額 (B-C)	1,093,069	2,644,537	1,551,468